

令和 6 年 7 月 1 日
建設・水道常任委員会資料
都市整備部公園緑地課

令和 5 年度宇治市植物公園の
指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手続等に関する条例施行規則第
11 条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

令和 5 年度 事業報告書

令和 6 年 5 月 2 8 日

施設名	宇治市植物公園
団体名	公益財団法人 宇治市公園公社
代表者名	理事長 木村 幸人
指定管理期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日（5 年間）

（１）業務実施状況報告（令和 5 年度）

【管理運営に関する基本方針と結果について】

公益財団法人宇治市公園公社は都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与することを目的として設立され、平成 18 年度からは宇治市植物公園、黄檗公園、西宇治公園などの有料公園施設の指定管理者として、16 年間にわたり管理・運営を行う中で、宇治市における都市緑化推進事業及び公園緑地事業の発展振興を図り、市街地の緑化及び緑地保全を促進するとともに、都市公園等の円滑な管理運営及び施設の健全な利用を通してスポーツ・レクリエーションの振興に努めてきたところで

す。

宇治市植物公園については、引き続き都市緑化の拠点として、市街地の緑化保全の推進並びに市民緑化意識の向上及び地域植物の保存育成に寄与し、合せて環境保全、防災、景観、福祉、市民参画、レクリエーション等の機能を有する「みどりの総合拠点」としての役割を果たしています。運営面においては、市民参画協働、産学官連携、各種団体・地域等の連携に主眼を置いた各種事業を企画し、積極的に実施しています。令和 5 年度は、市民や企業からの寄付による花と水のタペストリーの絵柄更新を年 2 回継続実施すると共に、各種学校との連携によるイベントやワークショップの開催、地域、各種団体との連携によるマルシェ等の開催、また、市の施策の推進に寄与する「子育て支援関連事業」や「紫式部ゆかりのまち魅力発信事業」の関連事業などを積極的に実施し、市民や地域が身近に利用できる公園づくりに努めて参りました。しかしながら、総入園者数は、各地で開催される各種催しへの分散化によるイベント参加者数の減少や 3 月の気候不順により桜の開花が遅れたこと等が原因となり、目標の 11 万人を達成することができず、108,538 人となりましたが、入園料収入等の利用料収入は、有料入園者等の増加が図れたことから、計画を上回る結果となりました。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策について】

公の施設においては、すべての人に守っていただく共通のルールが不可欠です。しかし、当公社は、本当の意味での公平・平等とは、共通ルールの遵守だけではなく、そこに「すべての人に気持ちよく利用してもらうためのきめ細やかなサービスや対応」が加わったものと考えています。

特に高齢の方やお身体の不自由な方には意識的に目を配り、サポートを必要とされる方には施設側からの働きかけによって対応しています。

また、当公社のこの考えかたについては、再委託事業者に対しても同様に意識啓発を図っています。

1、「ハード」と「ハート」のバリアフリーの実践

一般的にバリアフリーというと、施設の設備面、いわゆる「ハード」のバリアフリーととらえられがちです。しかし、令和6年4月1日に改正された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政・事業者に対して「合理的配慮」の提供が義務化されています。

当公社は、この「合理的配慮」の考えかたを重視し、ユニバーサルマナーの習得に力を入れ、「ハード」のバリアフリーのみではなく、スタッフの配慮による介助・サポートでお客さまにとってのバリアを取り除くこと、すなわち「ハート」のバリアフリーを実践しています。

2、ハード面でのバリアフリー

- ・園内各所の小さな段差や園路のへこみを随時無くし、高齢者や車いす、ベビーカー利用者の転倒事故の防止や負担を減らし、散策しやすい園内にするとともに、速やかに修繕できないときは来園者に危険がないように対応しています。
- ・起伏のある園内ではベンチなどの休憩箇所をふやし、高齢者や障害者、お子様への負担を減らしています。
- ・自動販売機は点字表示と車いすの方でもご利用可能な機種を設置しています。
- ・多目的トイレはオストメイト対応箇所を設けています。また、洋式トイレの一部をウォッシュレット機能付きにしています。
- ・小さいお子様連れに、授乳室を設置しています。
- ・緑の館ライブラリーのキッズスペースをリニューアルしました。

3、ソフト面でのバリアフリー

- ・車いす、ベビーカーの貸し出しを行っています。車いすはアシスト付きのものをご用意し、新たに子供用の車いすを導入しました。
- ・情報ツールとしてHP、SNS（X、インスタグラム、フェイスブック等）、掲示板・案内板、施設パンフレット及び月ごとの情報チラシ、各イベントのチラシやポスターを作成するなど多様なツールを用意しています。

- ・源氏物語の植物ガイドアプリの構築と導入により、スマートフォンを使って、英語での解説や音声で解説を聞くことができるようになりました。
- ・「ハーブ&ローズフェスタ」や「ジャパンコーヒーフェスティバル」、また園内ガイドなどにより、見るだけでなく、植物の香りや触感、水の音や生物の鳴き声、植物から出る音、植物の味等五感で楽しめるイベントや催しを行いました。
- ・車いすの方や小さなお子様も楽しめる植栽設計として、ユニバーサルデザインのコンテナの設置や子ども花壇を設置しました。
- ・京都外国語大学の学生によるユニバーサルツーリズムマップの作製に協力しました。

4、来園者への対応

当公社作成の接客マニュアルをもとに来園者に応じて筆談などの対応をしました。

5、認知症

令和4年度に職員研修を実施し、宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」のシンボルとなっている「レモン」の木を令和4年度に引き続き管理し、啓発に努めました。

【利用拡大の取組結果について】

利用拡大のための新規事業として、以下の取り組みを行いました。

1、催し物

- ・ヤクルト出前講座 健康になろう！

民間企業の協力を得て、健康に関する講座を行いました。

- ・和太鼓フェスタ

地元の和太鼓サークルと協力して、和太鼓の演奏を主とした催しを行いました。

- ・ハロウィンワークショップ Day

恒例のハロウィンパーティとワークショップを2週に分けて、実施しました。

- ・ブルーベリー収穫体験

サポートボランティアの皆さんと植栽したブルーベリーの収穫体験を一般向けに行いました。

- ・源氏物語に登場する植物を探そう

NHK 大河ドラマ「光る君へ」をきっかけにドラマの主人公である紫式部の書いた小説「源氏物語」に登場する植物をクイズ形式で紹介しました。

2、展示会

- ・カンアオイ展

京都カンアオイ研究会の協力で日本の伝統園芸の1つであるカンアオイの展示を行いました。

・特別企画展「牧野富太郎がのこしたもの」

NHK 朝の連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルである牧野富太郎博士に関連した展示を行いました。

3、野外

源氏物語ゆかりの植物の表示ラベルを更新しました。また、新たに源氏物語のゆかりの植物について解説アプリを構築し、植物ラベルと園内の位置図を連動させると共に英字解説や音声による解説が利用できるようになりました。

【利用料金収入の結果について】

	入園者数	入園料 収入	施設使用料 収入	駐車場 収入	計
令和5年度見込み	110,000	17,050,000	100,000	7,075,200	24,225,200
令和5年度実績	108,538	16,868,050	213,110	7,694,700	24,775,860
実績／見込 比	98.7%	98.9%	213.1%	108.8%	102.3%

令和5年度の利用料金収入は24,775,860円であり、事業計画書に記載の24,225,200円の目標値に対して約550,000円の増収となりました。

【自主事業に関する取組結果について】

○自主事業に関する方針

- ・植物公園をより便利に快適に楽しく利用していただくために実施します。
- ・営利目的で行うものではありませんが、収支は黒字となるように心がけます。
- ・収益は当園運用体制の強化及び施設の改修など公益目的事業に還元します。

○自主事業収入実績

事業項目	内容	金額
自動販売機	自動販売機販売（7台）	706,490円
飲食物販 直接販売	アイスクリーム販売	152,320円

	オリジナルハーブティ販売	97,800 円
	余剰苗販売	2,217,724 円
	オリジナルグッズ販売	
飲食事業(委託)	喫茶コーナー使用料	104,361 円
仮設、飲食物販事業	軽トラマルシェ	436,750 円
マルシェ等	夕涼みマルシェ・菜の花マルシェ	
	ナチュラルマルシェ in 植物公園	
有料イベント	展示会・イベント販売手数料等	1,432,370 円
有料体験プログラム	体験プログラム	
講師の派遣	講師(職員)派遣料	
設備使用料	コピー機、ロッカー使用	10,420 円
		5,158,235 円

「飲食物販 直接販売」については当初見込みを大きく上回る結果となりましたが、物品の購入をリピートされる方も多くみられ、来園者の満足度は高まっていると思われます。有料体験プログラムは営利目的で行っているものではありませんが、収支が黒字となるよう心掛けた結果、当初見込みより収入が高い結果となりました。

【情報発信の取組結果について】

1、ホームページの更新

- ・園内の見ごろ植物や見どころの旬を逃さず、随時更新を行いました。
- ・関連施設のリンクや SNS を利用してアクセス数の増加を図りました。
- ・ホームページのユーザー数は 117,299 人でした。

2、SNS を活用した広報

- ・ X (150 回更新)、インスタグラム (92 回更新)、フェイスブック (インスタグラムと連動)、を活用し、情報発信を行いました。
- ・植物公園アンバサダーによる SNS での情報発信を積極的に行っていただきました。

3、メディアへの情報提供

- ・催し物情報や植物の開花情報などの報道連絡を行いました。
- ・毎月 1 回 FM うじの番組に出演し、当園の見ごろ情報やイベント情報を案内しました。

- ・新聞、情報誌、テレビ、ラジオなどに見ごろ情報、催し物情報の提供を 170 回行いました。

4、ポスターチラシによる広報

- ・催し物のチラシ（合計約 14 万 7 千枚）、ポスター（合計約 2,360 枚）などはすべて職員でデザインし、宇治市内の施設や掲示板、近隣類似施設などに配架し、集中的に告知を行いました。

【管理運営体制等について】

1、運営体制

- ・正職 6 名、嘱託職員 4 名、臨時職員 8 名 計 18 名を配置しています。

2、研修の実施状況

- ① 普通救命講習会へ参加しました。
- ② 京都花蓮研究総会・研修事業へ参加しました。
- ③ 近隣植物園との種苗交換を行いました。
- ④ 広報に関する研修を行いました。
- ⑤ 日本植物園協会による「近年の気象の変化における植物園の対応と対策について」の意見交換会を行いました。
- ⑥ 施設運営についての研修を行いました。

【地域との連携、市民参画の結果について】

1、緑化推進に関するボランティアとの連携

○宇治市植物公園サポーター制度

- ・サポートボランティア登録者 56 名。施設管理、植物管理、イベント補助など年間活動数 117 回、延 638 人が参加しました。

○花と水のタペストリー絵柄更新のための花苗植え付け市民ボランティアの募集

- ・タペストリーの絵柄更新ボランティアは年 2 回実施し、延べ 4 日間で 150 名が参加しました。

○宇治市緑化ボランティア「みどりの会」との連携

- ・宇治市緑化ボランティア「みどりの会」による年間活動数は 143 回、延べ 1,007 人が参加し、技術指導や活動支援を行いました。

○市民ボランティアによる花壇の植え付け

- ・子ども花壇を新たに設置し、NPO 法人子育てを楽しむ会の「おさんぽ☆リボン」の協力を得

て、親子の参加による花苗の植え付けを行いました。

2、施設運営の市民協働

○宇治市植物公園サポーター制度

- ・植物公園サポートボランティアの活動による老朽化したベンチや机の改修、門扉などの塗装を行いました。
- ・花と水のタペストリー更新に係る費用の寄附を募り、第101作「かえる」の更新に係る費用のうち一部は寄附金を活用しました。(令和5年度寄附金額 463,000円)

○植物公園アンバサダー

- ・植物公園の運営に関する提案やSNSでの情報発信を行っていただきました。SNSを活用し、園内の魅力発信を拡散していただくと共に魅力発信について意見交換会を行いました。(8名登録)
- ・花と水のタペストリー絵柄公募に応募いただきました。

○市民公募

- ・花と水のタペストリーの絵柄公募を行い、21作品の応募がありました。
- ・菊花コンテスト作品募集 12名、14点の応募
- ・写真コンテスト作品募集 71名、134点の応募

3、地域や教育機関との連携を広げる取り組み

○教育機関との連携を広げる取り組み

- ・立命館宇治中学校・高等学校の課外授業「生物の多様性と生態系」のフィールドワーク、図書館の書籍リユースへの取り組み、夏休みのワークショップへの参加協力等の取り組みを行いました。
- ・宇治市内の小中学校による校外学習や職場体験、出前授業など13校の利用がありました。
- ・広野中学校特別支援学級の課外授業で花苗を販売いたしました。
- ・京都府立田辺高等学校、京都府立木津高等学校、立命館守山高等学校にイベント協力いただきました。京都文教大学による総合社会学実習の実施。
- ・近畿大学農学部の学生1名を博物館実習で受け入れました。

連携先	事業	実施月
京都府立田辺高等学校	「魅惑の匂い」でのミニ鉄道運行	5月
京都府立木津高等学校	「ハーブ&ローズフェスタ」・「観蓮会」・「紅葉フェスタ」でのお茶（ハーブティー等）試飲と物品販売	5月、7月、11月

立命館宇治中学校・高等学校	夏休みイベント「立宇治こども植物園」の企画運営 課外授業「生物の多様性と生態」のフィールドワーク、図書館の書籍リユースの取り組み	7月～8月、11月、 2～3月
立命館守山高等学校	夏休みイベントのワークショップ企画運営	8月
宇治市立御蔵山小学校	実習受け入れ（タペストリー植え付け）	11月
宇治市内小中学校	遠足や校外学習・職場体験・出前講座の実施（13校）	春・秋
京都府宇治支援学校	課外授業・花苗の販売など体験	春・秋
近畿大学	博物館実習の受け入れ	8月
京都文教大学	総合社会学習の実施	2月

○地域団体との連携

- ・宇治市福祉サービス公社にレモンの木の看板等管理、更新を行っていただきました。
- ・宇治商工会議所、宇治市観光協会、お茶の京都 DM0 と連携し、催し物への後援名義使用や催し物の案内など、来園者誘致に取り組みました。
- ・福祉事業者と連携し、催し物への出店による物品販売やハーブティの製造委託などを行いました。
- ・宇治市いけばな協会と協力し、市民いけばな展を実施しました。
- ・宇治写真協会に写真コンテストの後援及び審査委員に参加いただきました。
- ・広野地区自治会連合会の協力で夕涼みマルシェを開催いたしました。

連携先	事業	実施月
宇治市社会福祉協議会	介護者リフレッシュ事業「寄せ植えの管理」資料提供	9月
宇治市福祉サービス公社	レモンの木 看板管理	通年
宇治市ファミリー・サポートセンター	寄せ植えなど出張講座	3月

広野地区自治会連合会	夕涼みマルシェの実施	9 月
宇治市観光協会	イベント情報の共有、協力	通年
宇治市いけばな協会 宇治市芸術文化協会	市民文化芸術祭参加事業 市民いけばな展開催	5 月
NPO 法人京都フォーライフ	園内のカフェの運営	通年
宇治市観光協会	観光振興	通年
宇治商工会議所、宇治市観光協会、宇治写真協会、エフエム宇治放送、洛タイ新報	宇治市植物公園写真コンテスト展示会への後援	3 月
エフエム宇治放送	FM うじ 宇治市探検への出演	毎月最終月曜日
地元町内会、サークル等	夕涼みマルシェの開催、ホタルナイター出演（和太鼓）、和太鼓フェスタの企画運営	6 月、9 月、10 月
宇治山草会、宇治皐月会、宇治菊花会、京都富貴蘭会、京都ミヤマムギラン会、京都蘭友の会、京都シャボテンクラブ	展示会の開催	通年
野遊び研究会、女子力☆キラキラ応援団、草創塾、フォレストアーウジ	イベントへのワークショップ等参加	春・秋
eco ット宇治	イベントへの参加、グリーンカーテン講習会の実施	4 月
福祉事業者	ハーブティ製造、イベントへの出店など	通年
NPO 法人子育てを楽しむ会	おさんぽ☆リボン出張広場の実施	毎週水曜日

○民間企業との連携

- ・タキイ種苗(株)による花と水のタペストリーへの花苗提供（約 10,000 ポット）や花壇苗の提供などを受けた。また、会員誌「はなとやさい」への催し物情報の提供など連携を行いました。

た。

- ・(一社) ジャパンコーヒーフェスティバル実行委員会との共催でジャパンコーヒーフェスティバルを開催しました(春、秋)。
- ・京滋ヤクルト株式会社の協力で出前講座を開催しました。
- ・京都 ENDEMICA 実行委員会と協力し、京都 ENDEMICA「植物展示即売会」を開催しました。

連携先	事業	実施月
タキイ種苗株式会社	タペストリー花苗提供 タキイ種苗発行「はなとやさい」情報提供	11月、通年
京滋ヤクルト販売株式会社	出前講座・健康チェックなど	5月
ジャパンコーヒーフェスティバル実行委員会	ジャパンコーヒーフェスティバル開催	5月、11月
京都 ENDEMICA 実行委員会	京都 ENDEMICA 開催	6月
(公社) 日本植物園協会	絶滅危惧植物展	2～3月
(一社) フラワーソサイエティ	緑の相談員 情報連携	通年
レストラン蝶々 (スーベニアショップ)	マルシェ、縁日の開催(ハロウィンイベント、夕涼みマルシェ)	随時
ナチュラルマルシェクラブ	ナチュラルマルシェ開催	5月、11月

○ (公財) 京都府公園公社との連携

- ・遠足プランの実施及び緑のウォークラリーを実施しました。植物公園への案内板の張替えを行うと共に、当園の駐車場が混雑した際に太陽が丘の駐車場を来園者に案内しました。

【トラブル対応、防犯、防災対策について】

- ・来園者等の苦情・トラブルについては速やかに対応すると共に、報告書を作成し職員に周知し、今後の管理運営に活かしています。
- ・夜間は警備会社の巡回や遠隔監視により、異常が発生した場合でも速やかに対応できるよう努めています。

- ・防災に関しては各種危機管理マニュアルを作成し、緊急時連絡体制、救助体制、利用者への注意喚起の連絡や避難誘導、立ち入り禁止措置等が迅速かつ適切に対処できる体制づくりを実施しています。
- ・園内でのけが人には応急の処置をして状況を把握し、必要に応じて救急車を呼ぶなど適切な処置を行いました。併せて報告書を作成し、状況を記録しました。
- ・台風や豪雨などの防災対策として、カムループス通り沿いの高木伐採や園内で倒木の恐れのある高木等の剪定や伐採を行いました。また、園内を日常的に巡回点検し、異常を発見した時は日報に記載し、職員間で情報を共有するとともに適切な処置を行いました。

【利用者要望の把握状況及び実施策について】

1年を通じて実施した来園者アンケート（回答数 22）とランダムに実施した講習会の参加者アンケート（回答数 132）をもとに今後の管理運営に活かしています。また、市を通して、市民の声や直接の来園者からの声からも利用者の要望を把握するように努めています。

アンケート結果による利用者の要望としては、植物名の表示を増やしてほしい、除草を行ってほしいなど、また、イベントに参加してよかったなどの感想がありました。植物名の表示などは随時増やしました。また、講習会で実施したアンケートでは 60 代、70 代の参加が最も多く、要望があった講習会の設定など利用者の要望に添えるように管理運営計画に活かしています。

【サービス向上取組内容について】

1、利用料金の見直しについて

- ① 前年度に続き、年間入園券を減額することで年間入園券の購入者及びリピーターの増加による利用促進を図りました。

○年間入園券料金

	変更前	変更後
大人 1人通年	1,800円	1,500円
小人 1人通年	900円	750円

○実施結果（令和元年度との比較）

	大人 (人)	子ども (人)	計 (人)	金額 (円)
R1	729	13	742	1,323,900
R4	1,290	32	1,322	1,959,000
R5	1,128	26	1,154	1,711,500

R1比	154.7%	200.0%	155.5%	129.3%
前年比	87.4%	81.3%	87.3%	87.4%

② 前年度に続き、入園者増を図るため夜間料金を減額し利用促進を図りました。

○蛍ナイト開催時を除く夜間イベント開催時の16時以降の料金

	変更前	変更後
大人 1人1回	360円	300円
小人 1人1回	180円	150円

○実施結果（令和元年度との比較）

	夜間開園日 (日)	人数 (人)	金額 (円)
R1	15	8,086	360
R4	69	15,513	237,150
R5	24	11,465	187,800
R1比	80.0%	74.4%	52166.7%
前年比	17.4%	38.8%	79.2%

※R1の有料夜間開園日は1日のみ。

2、利便性向上の取組

- ・ベビーカー、車いすの無料貸し出し

ベビーカー4台、車いす7台（アシスト付き2台、子供用1台含む）

- ・子育て支援事業への協力

おさんぽ☆リボンは、宇治市より委託を受けたNPO法人子育てを楽しむ会が運営する事業で、未就学児と保護者を対象に開設されています。当園では毎週水曜日に研修室で開設されます。

市の委託事業を受け、10月7日に「キッズフェスタ 2023 in 宇治市植物公園」を開催し、1,500人を超える参加者が有りました。

キッズ花壇において、年3回親子ボランティアで花苗の植替えを行いました。

- ・お誕生日プレゼント

ご来園いただいた方がお誕生日の方に「お誕生日プレゼント」をお渡ししています。令和5年度は当園の季節の植物が印刷されたオリジナルファイルをお渡ししました。

- ・当園出口付近に車いすやベビーカーの方がわかりやすいように、スロープの案内看板を設置しました。

- ・ライブラリーにあるキッズスペースのリニューアルに伴い、絵本を増冊しました。

- ・緑の館前で利用者から要望が多い花や野菜の苗の販売を行いました。
- ・ユニバーサルデザインのコンテナを設置しました。

【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】

1. 経費削減

- ① 植物残渣をたい肥化し花壇の土壌改良に利用するとともに、剪定枝やガマ・ヨシの刈穂はチップ化して、園内の仮歩道などに敷設又は樹木などのマルチング材として利用しました。
- ② 電気使用量をデマンドにより調整するとともに各所の節電を徹底しました。また、一部照明をLED化しました。
- ③ 植物管理作業などを効率化し節水に努めました。
- ④ 管理温室のボイラーの使用についてはこまめに運転調整し、燃料の縮減に努めました。
- ⑤ イベントでは外部委託を極力減らし、職員を主体にボランティアや市民団体の協力、教育機関との連携などにより経費を削減し実施しました。
- ⑥ 植物管理では資材や原材料の価格と効果を検討し、使用する資材の見直しを行いながら、自家製たい肥やマルチングなども利用し、経費の削減に努めました。
- ⑦ 余剰苗を販売することで、来園者サービスの向上と余剰苗の有効利用を行いました。
- ⑧ 施設の小修繕は可能な範囲は職員で行い、経費の削減に努めました。机やイス、ベンチの修理などはボランティアの協力を得ながら行いました。
- ⑨ 銀行手数料の削減に努めました。
- ⑩ 事業計画書に沿って事業を実施するとともに、新規事業も取り入れ入園者の増加と施設利用料の増額に努めました。
- ⑪ リピート率が高い事業（講習会のシリーズ化、園長と散歩等）を取り入れ、入園者の増加等施設利用料の増額に努めました。
- ⑫ 花と水のタペストリー第101作目「かえる」絵柄更新を宇治市植物公園サポーター制度による寄附金と市民ボランティアとの協働で行いました。
- ⑬ 民間企業の花苗提供により、原材料費を削減しました。
- ⑭ 花壇に植栽する花苗の一部をタネから育てることで原材料費を削減しました。

【個人情報保護措置と実施状況について】

「個人情報保護に関する法律」に基づき対応することとし、個人情報の管理については鍵のかかる場所で保管を行うと共に、情報管理についての職員の意識を高めるよう機会あるごとに啓発を行いました。

また、文書の廃棄については、マニュアルに基づいて適切に処理をしました。

【情報公開対応と実施状況について】
「公益財団法人宇治市公園公社情報公開規程」に基づき運用しました。 なお、令和５年度において情報公開請求はありませんでした。
【その他】

(2) 施設利用状況報告（令和5年度）

【施設利用状況】 1. 入館（場）者数
16 ページ「令和5年度宇治市植物公園の利用及び収入状況」のとおり
【施設利用状況】 2. 貸館状況
16 ページ「令和5年度宇治市植物公園の利用及び収入状況」のとおり

令和5年度宇治市植物公園の利用及び収入状況

施 設 名		令和5年度①			令和4年度①			増減(①-②)		
		利用数 (人数・台)	単位	利用料(円)	利用数 (人数・台)	単位	利用料(円)	利用数 (人数・台)	単位	利用料(円)
植 物 公 園	入 園 者	108,538	人	16,868,050	123,541	人	16,642,410	△ 15,003	人	225,640
	駐 車 台 数	19,113	台	7,694,700	20,659	台	8,282,300	△ 1,546	台	△ 587,600
	施 設 使 用 料			213,110			160,540			52,570
	合 計			24,775,860			25,085,250			△ 309,390

(3) 管理経費収支報告（令和5年度）

（単位：千円）

施設名		宇治市植物公園			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	174,868	177,661		
	利用料金収入	24,225	24,776		
	その他	626	0		
収入合計（A）		199,719	202,437		
支出	人件費	81,794	83,872		
	事務費	12,627	12,506	租税公課 8,891 消耗品費 566 その他 3,049	
	管理費	63,258	66,891	委託料 56,006 修繕費 5,751 その他 5,134	
	事業費	42,040	36,276	光熱水費 30,206 燃料費 2,608 その他 3,462	
	その他	0	0		
	支出合計（B）	199,719	199,545		
収支（A）－（B）		0	2,892		

実績における市からの委託料（177,661千円）は、光熱費の高騰に対してリスク分担に基づき、委託料を増額して対応を行った後の金額

(4) - 1 事業実施状況報告（令和5年度）

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
該当事業なし		

(4) - 2 事業収支状況報告 (令和5年度)

団体名 公益財団法人 宇治市公園公社

(単位: 千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり 参加費	収支 (A) - (B)	収入		支出 (B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講師 謝金	材料費 等	その他
該当事業なし							
計							

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入すること